



高浜市議会議長
鈴木 勝彦

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
平成31年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。また、日ごろより市政並びに市議会に対しまして、温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、この地域では、将棋界での藤井七段の活躍を初め、名古屋城本丸御殿の復元工事完了と公開、第100回全国高校野球選手権記念大会での岐阜県出身の根尾選手の活躍など、明るい話題も多くございました。

その一方で、大阪府北部地震でのブロック塀の倒壊や、夏季における連日の猛暑により、小学生が犠牲となる痛ましい事故の発生のほか、西日本豪雨や大型台風の度重なる上陸、北海道胆振東部地震など、多くの自然災害が発生するなかで南海トラフ巨大地震の発生も秒読み段階といわれ、防災・減災が行政の大きな課題となっております。

高浜市に目を転じてみますと、第6次高浜市総合計画の後期基本計画がスタートし、いよいよ総合計画も仕上げの段階へと進んでまいります。2020年には、高浜市も市制施行50周年の節目を迎え、記念事業の実施についても検討が始まっております。

今年は、平成最後の年となり、日本にとっても大きな転換期を迎える年となります。加えて、私ども市議会も4月に改選期を迎え、改元に合わせるように、新しい議員による議会運営が始まります。

残りの任期もあとわずかとなりますが、議員一同、二元代表制の権能を十分に発揮し、議会改革を常に考え、市民の皆さまの負託に応えるべく、その職責を果たすよう努めてまいります。

終わりに、市民の皆さま方のこの1年のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。